

シリーズ10

男女共同参画社会実現にむけて

「日本女性会議'98あまがさき」報告

都留市女性プラン推進委員会

「個」と「個」で紡ごう 共生社会をテーマに、十月二十二日・二十三日と阪神淡路大震災で大きな被害を受けた、兵庫県尼崎市で日本女性会議が開催されました。街の中はどこを見回しても大震災の傷あとは薄れ、ところどころコンクリートの壁にひび割れを見る程度となっていました。

全国各地から二千四百名が参加し、そのうち男性は五十名程でしたが、美しい炭琴の音色が奏でられるなか「二十一世紀を目前にした今、女性も男性も個として独立し人権の確立を目指して具体的な行動をとる時がきた」との開会セレモニーで始まりました。

続いて、弁護士の中野麻美氏による「働く・生きる・あなた・私」と題した、基調講演が行われました。「今は経済が一瞬にして世界をめぐる時代、女性もコンピューター操作くらいできないと職場でも働きがいを見失い、自分いじめから他人いじめとなり職場いじめへと進む。今までは男性社会で作られてきた歴史だが、今後は積極的に女性も加わり二度と悲惨な戦争を引き起こしてはならない。企業主体の経済が今の不況を引き起こしたものであり、これからは働く従業員を主体に分かち合いの精神で企業運営を行うことで不況を脱出することができる...など」といった内容の講演でした。

ひき続き「わいわいトーク」と題し、大阪女子大学女性学研究センター教授の船橋邦子、演出家の和田勉、兵庫県生活復興局長の清原桂子の三氏によるディスカッションがあり、その中で和田勉氏は「一番になることよりオンリーワンになれ。一番になることは難しいが、オンリーワンには誰でもなれる」、また、清原桂子氏は「今回の震災での死者六千人の中で、女性の死者が男性よりも千人も多かった。これは一人暮らしの女性が多く、この人たちは自治会にも入らず隣近所の付き合いもないため情報が入らない情報弱者であった」という話をしていました。

二日目は分科会と全体会があり、午前中は十二の分科会に分かれ、活発な意見交換が行われました。午後の全体会での各分科会ごとの報告を聞いてみると、それぞれがより充実したものであったことを感じました。

最後に、男性参加者五十人のうちの一人として二日間にわたるこの会議は、女性主導の充実したすばらしい会議であり、これに参加した女性のパワーは男性以上のものがあると思えました。しかし、こういう女性たちとは別に、第三分科会のテーマであった「女性への暴力」いまだメスティクバイオレンスを語り合おう」で、現在夫や恋人から暴力を受けながらもじつと耐えている女性がたくさんいるという事実があり、こういった表にでにくい問題を抱えている女性たちへの対応をもっと真剣に考えていかねければならないと強く感じました。

Q&A
国民年金

保険料は所得額から控除

Q 保険料は所得額から控除されると聞きましたが本当でしょうか。

A 個人年金との違いが歴然です。



国民年金の保険料は、所得税法上、社会保険料控除の対象になっていますので、一年間に支払った保険料はその全額が所得から控除されます。
民間の生命保険や個人年金の場合は、多額の掛金を払っている人でも年間最高5万円までの控除しか受けられないことを考えれば、公的年金制度との位置づけの違いが歴然とするでしょう。

国民年金についてのお問い合わせは、市民生活課 国民年金担当か社会保険事務所の窓口へ